



2学期が無事終了しました。

全国で感染症の感染者が増大し、山梨県においても1日の感染者数が50人を超えていた状況の中で始まった2学期ですが、次第に感染状況も落ち着き、いよいよ明日で無事終業式を迎えます。1年で一番長い学期、しかも、1学期に感染症の影響でできなかった行事が延期され、この2学期に行われたため、忙しい中にも充実した学期を過ごすことができました。

さて、冒頭にも書きましたが、コロナ禍の中、それも感染拡大が懸念される中でのスタートでもありましたので、感染拡大の時期を乗り越え、こうして終業式を無事に迎えることができたことをとてもうれしく思っております。それとともに、学校の取組に対してご協力をいただきましたことに対して、感謝の気持ちでいっぱいでもあります。あの状況下、学校の取組だけではきっと乗り越えることはできなかったと思います。ご家庭のご協力があって、学校の取組も実効性を増し、拡大の状況に至らなかったのだと思います。加えていうならば、地域全体の落ち着いた状況も後押しをしてくれたものと思っております。本当にありがとうございました。引き続き、よろしくお願いいたします。

現在も、感染症は落ち着いた状況にありますが、新たな懸念材料もございます。これから人流の多くなる時期でもあります。気を付けていただき、良い年をお迎えいただきたいと思います。

歌声につつまれて ～なかよし音楽～

2学期に入り、感染症対策をしっかりと行った中で、音楽集会の「なかよし音楽」も再開してきました。11月26日(金)には1年生が「やまびこっこ えんそくバージョン」の合唱と「さがしてみよう ならしてみよう」の合奏を、12月10日(金)には4年生が親子活動の「1/2 成人式」の時に披露する「どんなときも」の合唱と、「茶色の小びん」の合奏を全校児童の前で披露してくれました。1年生は1年生らしく、かわいい元気な歌声と上手な演奏でした。4年生は、さすが4年生、たくさんの楽器を使い演奏したり、そろった声で歌ったりと美しい音の重なりを響かせてくれました。また、10日には、久しぶりに全校で校歌もうたいました。やはり、歌声のあふれる学校はいいですね。



前教育長保坂一仁氏よりハードルの寄贈

昨年度まで甲州市の教育長をされていた保坂一仁様(元塩山中学校校長)から「フレキハードル」(上部のバーが中央部で分割されており、足が触れても自在に曲がるハードル)の寄贈がありました。市内の全小学校(中学校にはワンタッチテントが)に寄贈していただきました。ご自身が陸上競技にずっと関わってこられたこともあり、このハードルに



してくださったようです。障害走は、ハードルにぶつかってしまう恐怖心が一番の障害となります。それが軽くなり、学習もしやすくなります。お気持ちに感謝しながら大事にたくさん使っていきたいと思います。ありがとうございました。

消防署・警察署の見学 -3年生-

3年生は11月30日(火)に、塩山消防署と日下部警察署塩山分庁舎の見学に行ってきました。消防署では施設や車両や訓練の様子を見学したり、署員の生活についてお聞きしたりしました。説明もわかりやすく、迫力ある訓練に感動していました。警察署では鑑識の体験をしたり、パトカーや白バイに乗せてもらったりしました。皆、興味深く興奮しながら体験していました。



明るい選挙出前授業 -6年生-

6年生は12月3日(金)に、甲州市選挙管理委員長日原様と甲州市役所総務課飯島様と木曾川様に来ていただき、明るい選挙出前授業をしていただきました。あと6年ほどすれば選挙権を有する6年生が選挙の仕組み等についてクイズに答えながら学習しました。実際に架空の候補者の公約を見て真剣に選挙もしていました。



クリーンセンターの見学 -4年生-

4年生は12月15日(水)に、甲府・峡東クリーンセンターの見学に行ってきました。ごみ処理についてのDVDを視聴したりごみ処理施設について説明を聞きながら見学したりしました。施設規模の大きさやごみをホッパに投入するクレーンの大きさに驚いたり、甲州市のパッカー車や見慣れた黄色いごみの袋を目にして自分たちの生活とのつながりを実感したりしていました。



フランスへのオンラインツアー

5年生は、12月14日(火)に、フランスへのオンラインツアーに行っていました。担任の保坂教諭の知人でフランス駐在の県職員甘利さんのご協力をいただき、今回のツアーとなりました。



これに先立ち、この授業の事前学習と社会科の学習を兼ね、県立美術館とNHK甲府放送局に見学に行ってきました。また、前日の13日(月)には、フランスの事前学習として、現地にいる甘利さんとオンラインでつないでパリ市内の様子を紹介してもらったり、県の国際交流員でフランス人のカミーユ・レさんに来校していただき、フランスの小学生の生活や簡単なフランス語の挨拶などについてお話を聞いたりしました。14日には飛行機に乗ってシャルル・ド・ゴール空港に降り立つことから始まり、バルビゾン村の「ミレー記念館」の館長ヒアム・ファルハットさんに館内を案内してもらったり、バルビゾン村の観光局員エドウィッジさんに村内を案内してもらったり、パリのジュンク堂(甲府にもある書店)のミシャエルさんにフランスで人気の日本の漫画や本を紹介してもらったりしました。貴重な体験のできた学習でした。

※ 明日から冬休みとなります。どの子ども地域の子として、温かく見守っていただきたいと思います。